

「未来を拓く無機膜 環境・エネルギー技術シンポジウム」

開催概要

1. 開催趣旨

公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）無機膜研究センターでは「無機膜を用いた革新的環境・エネルギー技術」に関する最先端の研究開発を推進するとともに、その実用化・産業化に向けて、分離膜・支持体メーカーやそのユーザー企業と「産業化戦略協議会」を設立し、ビジョンの共有化や共同研究の創出に向け、各種活動を行っています。

本シンポジウムでは、CO₂を炭素資源として捉え、これを分離・回収して再利用する「カーボンリサイクル」テーマの中でも、無機膜による化学品合成と液体燃料製造にスポットを当てます。これらに関連する*最新技術動向や実用化に向けた取り組みについて、大学および企業の方々にご講演いただくとともに、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）から委託を受けた2つの研究テーマ「CO₂を用いたメタノール合成における最適システム開発」と「炭素循環のためのCO₂変換技術開発（FT合成）」について、無機膜研究センターの最新の研究成果を報告します。さらに、産業化戦略協議会の取り組みについてもご紹介いたします。

2. 開催概要

■主 催：公益財団法人地球環境産業技術研究機構

■共 催：経済産業省、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

■後 援：一般財団法人エネルギー総合工学研究所、公益社団法人 新化学技術推進協会、
一般社団法人 水素供給利用技術協会、一般財団法人 石油エネルギー技術センター、
一般社団法人日本ガス協会、燃料電池実用化推進協議会

■共 催：一般財団法人 ファインセラミックスセンター、公益社団法人化学工学会、
一般社団法人 日本膜学会

■日 時：2022 年 11 月 2 日（水）13:00-17:00

■会 場：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール
（web とのハイブリッド開催予定）

■参加費：無料

■主なプログラム

敬称略

・主催者挨拶：13:00～

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長 山地 憲治

・共催者挨拶：13:05～

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 統括主幹 鈴木 恭一

・講演 1：13:10～13:50

芝浦工業大学 工学部 応用化学科 教授 野村 幹弘

「膜反応器を用いた CO₂資源化の可能性」

- 講演 2 : 13:50~14:30
富山大学 学術研究部 工学系教授
富山大学 工学部 カーボンニュートラル物質変換研究センター長 椿 範立
「無機膜と触媒によるカーボンリサイクル技術」

- 講演 3 : 14:30~15:10
日本ガイシ株式会社 研究開発本部 NCM 開発部 グループマネージャー 野田 憲一
「日本ガイシのカーボンニュートラルへの取り組みとCO₂分離用DDR型ゼオライト膜の紹介」

- 休憩 : 15:10~15:25

- 講演 4 : 15:25~16:05
JFEスチール株式会社 スチール研究所 環境プロセス研究部 主任研究員 紫垣 伸行
「製鉄所排出CO₂を用いたCCUメタノール合成技術開発」

- 研究成果報告 : 16:05~16:45
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 無機膜研究センター長 中尾 真一
「カーボンリサイクル・炭素循環のためのメタノール合成、CO₂変換(FT合成)に貢献する無機膜の開発」

- 産業化戦略協議会の活動報告 : 16:45~16:55
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 無機膜研究センター 副センター長 松好 弘明

- 閉会挨拶 : 16:55~
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事 本庄 孝志

以 上